

## CSW61 報告

### —在日外国人として日本の女性団体の活動に参加すること—

城西国際大学人文科学研究科女性学専攻博士コース 4年

程 赫男

今年の CSW61 は例年どおり 3 月に国連本部で開催されました。

この度は、在日外国人留学生としての私を JAWW 若者支援者に選出していただき、JAWW の皆様のおかげで、世界各地から国連に集まってきた女性たちとお互いに交流できて、非常に貴重な経験をさせていただきました。心より感謝しております。

以下、自分の CSW61 参加体験を報告書とさせていただきます。そしてジェンダーの問題に関心を持つ在日外国人（留学生も含め）は、どのように日本全国各地の女性団体に参加できるかについても、ちょっとアドバイスさせていただきたいと思います。これから CSW に参加したい方々、又は日本国内の女性団体に参加したい在日外国人たちに少しでも役に立てば幸いです。

今回私は初めて CSW61 会議に参加しました。世界諸国の女性たちの討論や意見だけでなく、会議と各イベントの現場で、皆様は熱情を持って積極的に自分の考えや意見を発表した雰囲気にとっても感動しました。女性問題に関心を持っている人は女性だけでなく、たくさんの男性も高い関心を持って参加していました。ジェンダー問題は女性だけではなく、男性も、社会全体との協力と理解が必要だと実感しました。会議の期間中、女性に対する暴力や男女賃金待遇格差に関するイベントに参加しました。参加者は声をあげて、各方面に存在している男女の不平等を訴えており、これは大切だと思いました。行動は何よりも一番重要だと思います。

女性の経済的エンパワーメントを 2030 年までに、どのように実現できるのか、女性の経済的自立の実現戦略、社会各方面での女性に対する差別の排除はどのようにすべきか、世界各国からの CSW61 参加者たちは積極的に議論しました。私は聞きながらいろいろ勉強になりました。

次に、ジェンダー問題に興味を持つ在日外国人（留学生も含め）はどのようにしたら日本の女性団体に参加できるかについて、アドバイスしたいと思います。私の知る限りでは、日本の女性団体に参加したい在日外国人（留学生も含め）は、指導教員の紹介、周りのネットワーク、そしてインターネットを活用して、日本全国各地の女性団体を探すことができます。また、各女性団体のホームページをよく調べれば、各女性団体の概要及び昔の活動記録が分かります。もしその女性団体に関わることやその女性団体会員になりたいなどの質問があれば、メール或いは電話でその女性団体に連絡して聞くことをおすすめします。

今回の CSW61 をとおして、JAWW の織田様、青木様、メンターとしての草野様、若者支援者唐木様、および世界各国からの女性問題に高い関心を持っている多くの方々との出会いは、私にとって非常にありがたい人生経験でした。CSW61 会議の期間中、皆様とコミュニケーションでき、皆様の人生経験がわかって、私にはとても重要な意味があったと思います。これから、自分の研究課題を続けていくために、JAWW 及びその他の女性団体の皆様と一緒にジェンダー問題の発現と解決につづいて頑張りたいと思います。最後に、今後の皆様の益々のご活躍とご発展を心からお祈り申し上げます。